

オフィスでの環境保全対策

リサイクル活動の推進

東京本社ではフロアからごみ箱をなくしました。各フロア-ごとに回収ボックスを設け、分別回収を徹底し年間95.2トンの紙類を回収し、70.9トンを再利用しています。(写真右上)



夏の軽装運動の実施

7月～9月の3ヶ月、ノーネクタイ、ノー上着運動を実施し、可能な限り軽装に努め、オフィスの適正冷房(設定温度28 付近)による省エネルギーの一層の推進を行なっています。



本社ビル省エネ診断

グリーン調達・購入

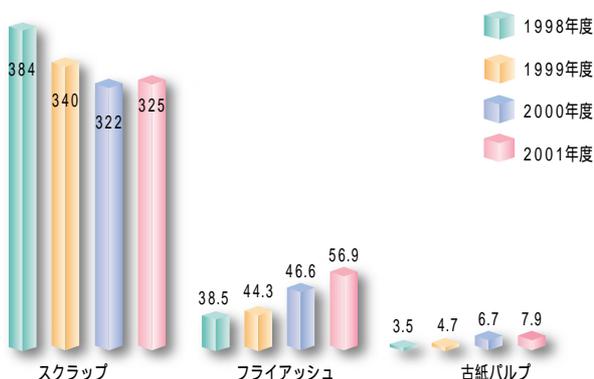
1996年にグリーン購入ネットワークに加盟し、環境への負荷の少ない製品を優先的に調達するグリーン調達を推進してきました。原材料・部品等については、2001年4月にグリーン調達ガイドラインを定め、購入先企業体質基準、製品基準により総合的に採用の可否を検討しています。

グリーン購入法の特典調達品目については、2001年11月にグリーン購入推進基準を定め、法で定める判断基準を満たす物品の購入に努めています。現在グリーン購入金額・購入比率を集計できるシステムを構築中です。

グリーン調達ガイドラインは資材調達ホームページで公開しています。
<http://www.procure.kubota.co.jp/housin/index01.html>



リサイクル材料の購入量(千t)



べんりねっと



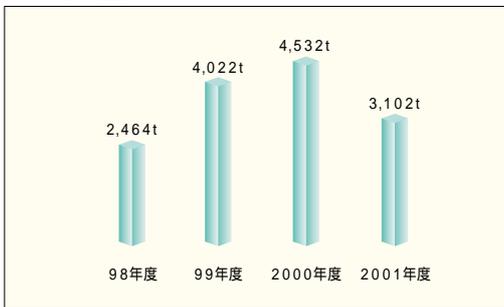
物流段階での環境保全対策

物流の合理化によるCO₂排出量低減の取り組み

輸送に伴うCO₂及び大気汚染物質の排出削減のため、鉄道・船舶輸送への切り替え等のモーダルシフトの推進や、共同輸配送、帰便の活用等、輸送効率の向上に取り組んでいます。また包装資材の削減による、廃棄物の削減及び包装資材製造時・廃棄時のCO₂削減に取り組んでいます。

2001年度のモーダルシフト率は35%でした。CO₂排出量は、物流システムの改善と梱包・荷姿改善を合わせ3,102トンの削減となりました。(効果金額は848百万円)

CO₂削減量



物流段階の環境配慮活動の取り組み事例

① モーダルシフトによるCO₂排出量の低減事例

セグメントのトラック輸送を海上輸送に切り替えました。



セグメントの船への積み込み

効果: 恩加島工場出荷分のモーダルシフトは、軽油使用量で49,630リットル、CO₂に換算すると131t - CO₂の削減効果がありました。
軽油のCO₂排出係数を2,644kg - CO₂/klとして算出

容器包装リサイクル法への対応

当社は、事業者や一般消費者向けに非常に多くの分野や用途への製品を販売しています。これらの製品に用いる容器包装の姿は千差万別で、ほとんどの製品は、容器包装リサイクル法の対象外の荷姿で出荷されます。

当社の製品に使用している容器包装の全使用量を2000年度も引き続き把握しました。

その結果、使用量の実績は、プラスチック製の容器包装で約

② 包装廃棄物の発生抑制の取り組み事例(環境負荷低減包装)



従来梱包とエコロジー梱包の比較

効果:1パレット当り5.4kgの包装資材の削減効果がありました。
(年間で約410t)

③ トラクタ輸出品の梱包改善事例



木材梱包

鉄梱包

効果:木材梱包を鉄梱包に切り替える事により、客先での廃棄物削減と開梱作業を容易にすることができました。

300トン、紙製の容器包装で約690トンとなっていました。しかしながら、事業者向けの製品であったり、ほとんどは流通段階で解梱されるため、一般消費者にまで渡り、最終的に一般廃棄物として出される量は極く少なくなっています。

これからも循環型社会構築のためのリサイクル可能な材質への変更と、地球温暖化防止のため容器包装の減量化への両面活動を積極的に継続実施します。